

暹度氏會話

淨寫

500





大正十一年四月贈

第一問 坂ニテ西村氏(三井ノ)共ニ第一國立銀行支配人
ノ口氏ト會話 千八百七十五年十一月
(井ノ口氏工)銀行ハ子ガ望ニ通りニ為リタル

答 然リ

第二問 望ニ通り充分ノ預金ヲ得タリヤ

答 否

第三問 定期預金ノ斯ノ如ク些少ナル所以ヲ解明セ
ンカ

答 第一当所ニハ士族甚タ少キヲ以テ士族ノ預

金随ツテ少ナシ

第二商人ハ金銀ヲ營業ニ用エレバ利益多キ

ヲ以テ預金トナサズ

第三水坂ニテハ多クノ商人ハ貯蓄金ヲ自身

ノ庫中ニ蓄ヘ置ケリ此等ノ貯蓄ハ金債

ニシテ此貯蓄金ヨリハ利子ヲ得ルツ望

マ不且ツ自身ノ庫ハ銀行ノ庫ヨリ強堅

ナリト思フエハ之ヲ銀行ニ預ケズ〇当

所ノ一商人(酒商池田)ハ旧金銀ノ外ニ少

ナク凡新金債ニテ十萬圓位ハ所持セリ

第四問 答 然リ其故ハ東京大坂間ノ為換追々繁昌レ且

ツ余ハ年三朱以下ノ利ヲ當座預金ニ付スル

ヲ以テナリ

第五問 且下ハ如何ナル 抵當ヲ以テ貸付ヲ為スヤ

答 公債証券

第六問 當所ニテハ銀行事務ニ於テ一種特別ノ慣習

アリヤ

答 無し

第七問 印税ノ銀行事務ニ差響クモノハ如何且ツ子

ハ右ノ印税ニ付テ愁嘆スルヤ

答 切手一枚ニ付壹錢

為換手形百圓ニ付貳錢即時直拂ナリ凡又ハ見置

府内通用割引手形百圓ニ付貳錢

右ニ付テハ銀行ニテ愁嘆セズト思考ス

當座預金通帳ノ受取百圓ニ付五錢

右ニ付テ愁嘆スルナリ尤モ甚ダシ

定期預金受取百圓ニ付拾錢

大阪省

是、亦々傷タムベシ預期限短キ時ハ殊ニ
困迫ス。
貸付金百圓ニ付拾錢

上ニ同シ

銀行振出手形壹枚ニ付拾錢 然レモ之ハ唯
銀行ニテ手元ニ金ヲ置ク時ノ一ノニ若シモ
銀行ニテ金ヲ使用スル時ハ其税百圓ニ付五
錢

其利子ヲ拂フ時ハ百圓ニ付拾錢

此時西村氏来リタル故ヘ以下ハ井ノ口西村両氏ノ答
ニ係ル

第八問 期日ニ至リテ貸付金ヲ返済セザル時ハ銀行
ニテハ直々ニ其抵当ヲ賣却スルヲ得ルヤ

答 然リ我輩ハ之ヲ為スヲ得

第九問 若レモ抵当物ニ餘リアル時ハ貸付金トシテ
之ヲ用ユルヲ得ルヤ

答 否

第十問 貸付金ノ抵当ヲ取ルトモ其他尚ホ借入ニテ
引請クバキコアリヤ

答 然リ其不足ヲ引受ケ有餘ノ分ハ所有ノ通義
ヲ得

第十一問 品物ヲ当テニ金ヲ貸付ケンニ其品物若シ
借入ノ庫中ニ在リテ其庫ノ管鑰ヲ貸方ニテ所持
スル時ハ假令借人身代限りニ至リタルモ其品物
ヲ貸方ニテ取ルハ法律上ノ許ス所ナリヤ
答 然リ

第十二問

貸付金ノ利子ハ何時ニ拂フヤ

答 貸付ヲ為ス時ノ約定ニ依リテ種々ナレモ通常ハ期限ノ終ナリ

第十三問

預金ノ多キヲ望ムト子ハ云ヘリ(第二ノ問)

若シ之ヲ得バ何如ニ使用スルヤ

答 貸付金ヲ為スヘシ

第十四問

如何ナル抵当ニテカ

答 公債証書

第十五問

唯是ノミカ

答 重ニ是ノミ猶亦地金銀金貨ニテモ

第十六問

若干ノ公債証書ヲ賣ラントテ求メハ何時

ニテモ差支ヘ無ク賣ルヲ得ルカ

答 然リ

第十七問

何人ニ

答 商人ニ

第十八問

子ハ品物又ハ人ノ保証ニテハ金ヲ貸付テ

ザルニ非ズヤ

答 然リ

第十九問

然ル時ハ假令借人ハ善キ商品ノ抵当ニ出

スバキモノアリテ其人ハ当銀行(第一)ノ貸付

金ヲ得ル能ハサルナリ

答 全ノ然リ

第二十問

子ハ庫ヲ持ツヤ

答 否

第二十一問

大坂ニテハ他ノ銀行扱人ニ同シク人ノ保

証又ハ品物ニテ金ヲ貸付テザルヲ通常ト為ス

ヤ

答

之ヲ通常トス三井ニテハ地所ヲ抵当ニ取レ
氏当銀行ニテハ之ヲ為サス猶又三井ニテハ
若シ自分ノ庫ニ積ミ置ク時ハ其米ヲ抵当ニ
取ルヲアリ尤モ之ハ甚々少ナレ米ヲ抵当ニ
取ル時ハ通例ノ利子ノ外ニ貸レ地ノ代價モ
籠ル故ニ利子ノ割リ高シ而シテ商人ハ高
利ヲ拂フヲ好マズ且ツ商人ハ他人ノ蔵ニ品
物ヲ置クヲ好マズ
大商ハ間々自分ノ取引キスル処ノ品物ニテ
貸金ヲ為スヲアリ

第二十二問

唯公債証券ニテ貸金ヲ為スノ業ハ久
シク行ハルカ

とノ云

答

近年マテ地所莫ク家作ハ最好ノ抵当物ト考
ヘ貸付金ヲ為シ猶又々綿銅米等ニテ貸付ケ
タリ尤モ綿銅米等ニテ貸付ルハ多分商人ナ
リ
三井ハ商人ニメ且フ銀行扱メテ兼ヌル故ニ
生絲綿等ヲ以テ金ヲ貸付ケタレ氏當時ハ之
ヲ為スノ稀ナリ是レ貨幣ノ稀少ナルト銀行
事務ノ手廣ニナルニ依ル

第二十三問

唯人ノ保証ニ依リテ貸付ヲ為ス業ハ嘗
テ行ハレタリヤ

答

然リ多分ハ大名ニ貸シ又々或ル商人ニモ貸
シタリシガ當時ハ此事全ク廢絶ス〇無抵当
ノ貸付ヲ平貸シト稱ヒ法律上ニテハ其取戻

大
債
省

ニ付ラハ特別ノ便利ヲ予ヘタリ

第二十四問 子が談話ヨリメ近年ハ抵当ノ取リ方一層狭クナリ貸付ノ事業大ヒニ変化セシテラ余ハ羨望ス

答

然リ其変化アリタリ余カ考ヘコテハ之レハ貨幣ノ少ナキニ依ルナリ然レモ商人中ニハ人ノ保証又ハ品物ヲ当テニ金ヲ貸付ルハ未タ全ク廢絶セズ

第二十五問 現時ニ於テハ公債証金銀又ハ地所

ヲ得スンバ商人ハ銀行ヨリ金ヲ借ルヲ得ザルカ

答

銀行ヨリハ借ル能ハガレモ他ノ商人ヨリ借ルテ得

と一七

第二十六問 然ル時ハ現時ノ情弊ハ即ハテ商人ハ銀

行ニ預ケズ又タ銀行ヨリ借ラズ少シモ銀行ノ助ケヲ待タズメ自カラ營業スルナリ

答

然リ

第二十七問 若シモ銀行ノ庫ニ在ル品物焼失セバ其

損失ハ何人ニ掛ルヤ

答

規則トシテ持主其品物ヲ失ヒ銀行ニテ其貸金ヲ失フ

第二十八問 当所ニテハ各商人自己ノ倉ヲ持フヲ風

習ナリヤ

答

然リ

第二十九問 東京ノ如ク庫ハ通常家屋ニ接近スルヤ

又ハ家ハ此所ニアリテ庫ハ彼所ニアリヤ

大 後 省

答 通常倉ハ家ニ附近ス

第三十問 會社等ニテ所持スル公倉アリヤ

答 無し

第三十一問 公倉ノ法ハ如何ナル功效ヲ為スベキヤ

答 甚ハ善キナナルベシト我輩ハ思考ス

第三十二問 右ノ如キ倉ニ入置キタル品物ヲ抵当ニ

セバ金ヲ貸付クベキヤ

答 若レモ政府ニテ取建ルモノナラバ貸付クベ

ケレモ其他ニテハ為サズヨ會社ニテ支配ス

ルモノニテハ人民ハ之ヲ信憑セザルベシ

第三十三問 商人ハ一般ニ自分ノ資本金ヲ以テ營業

スルヤ

答 互ニ貸り合フモノ隨分多シ

トノハ

第三十四問 何ノ為メニ大坂商社ヲ為換會社ハ立ケタ

リヤ又タ破産セシハ何ニ依ルヤ

答 大坂商社ハ商賣ノ為メニ立テ

為換會社ハ金ヲ貸ス為メニ立テタリ

右孰レモ産物出来ノ後ニ返済スルキヨ約定

シ以テ無抵当ニテ諸人ニ金ヲ貸シタリレガ

産物出来ノ後ニ全ク返済セサル者アリ又タ

皆済セザルモノアリテ此等ガ破産ノ元ト為

リタリ

第三十五問 其支配人ハ何人ナリシヤ

答 重ニ大高ナリ其數ハ大凡十人(蓋シ各會社ニ)

三井小野島田モ其中ナリ

第三十六問 商業ノ現状ハ以前ヨリ善キトスルカ又

ハ悪キトスルカ

答 随分悪シ

第三十七問 何ニ依リテ欺ノ如クナリト思フヤ

答 外國ノ市場ニ於テ日本ノ産物ノ價大ヒニ下落セシニ依リテ諸商業ニ差響キテ起レタルナリ

第三十八問 子ハ唯是ノミナリト思フヤ

答 然リ余ハ是ノミナリト思考ス

第三十九問 近年商人中ノ信用大ニ欠亡セシニア

ラズヤ

答 然リ随分

第四十問 之レハ商業ニ差響シ起レタリト思フヤ

答 然リ

とノ九

第四十一問 信用缺亡ノ害ハ銀行ニモ及ハリト思フ

ヤ

答 然リ

第四十二問 子ノ思考ニ於テハ此信用ノ下ニ来ス

実因ハ何ナルヤ

答 日本産ノ外國ノ市場ニ於テ價直下落スルヨリ發生スル商業ノ不景氣カ即ハケ其実因ナリト思考ス

然レ氏五代氏古ク信任ノ缺亡スルハ不正ノ商賣流行スルニ依ルモノ多シ当時商人ハ方畧ヲ以テ互ニ相ヒ勝タンコトヲ務ム

第四十三問 銀行ニテ信用ヲ快復スルハ難キコト子

ハ思考スルヤ

大

答 之レハ当今ノ難題ナリ小ヨリ始メ漸々ニ快
復セサルニカラズ

第四十四問 外國ニ於テ為ス如ク時々實際表シ布告

答 恐ラクハ唯十分一ノ人民カ之ヲ觀ルベシ而
シラ之ヲ解得スル者ハ又其中ノ十分一ナル

答 政府ノ視察ノ次第ニ依リ若シモ政府ノ視
察少キ時ハ之ヲ信ヤ

第四十五問 第一國立銀行ノ紙幣ハ差支ニ無ク流通
セレヤ

答 然リ

第四十六問 人民ノ之ヲ信ズルハ何ニ依ルヤ銀行ノ

と一〇

名ニ依ルカ或ハ政府ニテ此紙幣ニ關係スル
ニ依ルカ

答 重ナル原因ハ正金ト引換ノ出来ルコトナリ

第四十七問 人民ハ此紙幣ヲ永ク所持シタリヤ

答 通常ハ永カラズ然レモ随分永ク由通シタル
トモアリタリ

第四十八問 商業上ニテ近來ハ篤實ノ取引増レタリ

答 減シタリト思考ス
ヤ或ハ減セリヤ

第四十九問 此緣故ハ何ナリト思考スルヤ

答 近年近キ農商ノ三區別アリタレモ當時ハ皆
ナ商業ヲ為セリ

第五十問 政府ニテ御用預ケノ抵当ヲ取ルコトヲ聞キ

大 蔵 省

答 夫ル人民ハ心中ニハ如何ナル感覺ヲ起スヤ
無論人民心中ノ感覺ハ惡シ

第五十一問 一旦府廳ニテ銀行ト同レ割リノ利子ヲ

以テ預リ金ヲ為シ銀行ト競ハ、孰レカ多ク
ノ預金ヲ得ヘシト子ハ思フヤ

答 唯信用一方ニ付テ論セバ人民ハ擇ンデ府廳

ニ向フヤケレハ茲ニ又銀行ニ向フ所以ノ他

ノ事情アリ一例ヲ挙ケテ言ハシニ銀行ニテ

ハ合時^限ニ鎖サズ大坂ノ第一國立銀行ハ三時

ニ鎖スト云ハ空名ニテ其實四時^限ニ及ベリ

第五十二問 当時大坂ニテハ多クノ相場行ハル、ヤ

答 丁度東京ト同ジク唯米ノミ

第五十三問 相場ニ立テ入ル者ハ何人ナリヤ

と、一

答 第二三等ノ人ナリ堅固ナル商人ハ之ヲ避ケ
之ヲ不正ノ商業ト見做セリ

第五十四問 大坂ニ於テ唯信用ヲ以テ商業ヲ為スモ

ノアリヤ

答 然リ信用ニテ為ス商業ハ随分多シ大坂ノ製

産人ハ品物ヲ國內ニ送り受取人ハ船積後三

十日位ニテ回金シ時トメハ品物受取後三十

日ニテ送ルヲモアリ通常正金ニテ送レリ

大坂ハ人民ハ抵当ヲ取ラス

第五十五問 大坂ヨリ東京ニ行ク品物ハ何ナリヤ

答 麥、酒又タ蠟紙等

第五十六問 此商業ノ内信用ヲ以テ營マル、モノアリヤ

大坂

然リ此商業ノ多分ハ既ニ陳述セシ方法ヲ以テ營レタリ

第五十七問

信用ニテ他ノ商業ヲ為スモノアリヤ

答 然

輸入商業ハ多分然リ

第五十八問

当時租税回送方ハ地方官ニテ貨幣ヲ以テ送ルニ非スヤ

答 然リ

第五十九問

此法ハ便利ナリヤ

答 否

第六十問

何故ニ

第六十一問

運送費ト盗難ニテ

答 他ノ不便利アリヤ

答 金利ヲ高クス而シテ最初ハ小野ノ出店アリ

と一ニ

と一ニ

タル所モ当時之レ無ク産物ヲ買フモノ無キ

エハ人民ハ之ヲ賣ラシガ為メ自身ニ大都邑

ニ持ケ出サ、ルヲ得ス

千八百七十五年十一月九日

秋馬新三郎氏ト會話

家号松坂屋

余が家ハ創立以來既ニ百年餘ナリ

七十年以來生綿商買ヲ為セリ

大和河内勢州山城丹波ヨリ綿ヲ買入ル

農夫ハ現金ニテ綿ヲ操屋ニ賣リ操屋種ヲ去ル〇操屋

ハ現金ニテ村落中ノ生綿商人中継ニ之ヲ賣ル

余ハ中継ヨリ現金ニテ之ヲ買フ

通常中継ヨリ直ケニ余ニ送レリ買入ノ為メ代

理人ヲ出スヲハ甚々稀ナリ

我輩ノ商賣ハ利益ヲ得テ綿ヲ賣ルニ在リ

○類ヲ分ケ記号ヲ付ル外ハ何モ手ノ掛ルヲ無シ

時トメハ當時ノ問屋ニ賣レリ○現金拂ニナスヲ通例ノ規則ナレド又タ滞ルヲアリ時トメハ数日間ノ貸シヲ為スヲアリ

若シモ資本ヲ多ク持タバ一層大ナル營業ヲ為シ得ヤレト思考スルヲ折々アリ詳記スルハ我輩ハ問屋ニ掛ケ賣リヲ為ス時ニハ数日間ハ無金ノヲアリ茲ノ如キ時若シモ之ヲ割引スルヲ得ハ款ラレキ取引ヲ為スヲ得ベシ且フ資本ヲ尽シテ綿ヲ買入レ其代價下落セル時金ヲ借ルヲ得ハ大ニ便利ナルベシ

と一三

当時大坂ニテハ商人ニ金ヲ貸カンヲ謀ル銀行扱人アルヲ無し問屋屋ハ之ヲ為スト虽モ亦總カナリ故ニ商人ハ互ニニ撮合セ居レリ○商人ハ抵当ヲ取レリ(重)モニ品物此等ノ品物ハ通常金ヲ貸ス人ノ庫中ニ置ケリ別段ニ倉舗料ヲ取ルヲハ無ケレド其料ハ金利中ニ籠ルヲ勿論ナリ○利子ハ種々ナレド通常年一割ヨリ高割貳分位ニテ此中倉舗料モ籠レリ公債証居ニテ貸付タル金ハ其利是ヨリ低シ

○商人ヨリ金ヲ借ラシカ銀行ヨリ借ラシカト云ハ、余ハ商人ヨリ借ルベシ如何トナレバ銀行ハ營業時間極リアリ且又抵当ヲ取ルニ甚々綿密ナレバナリ商人中ニテハ正当ナル抵当無クシテ金ヲ貸スヲ普通ナリ

大坂

我カ庫ノミニテハ不足ナル程品物ヲ持ツテ屢アリ其
時ハ他ノ商人ノ庫ニ入ル
公倉法ハ大ニ便利ナルヘシ然レハ綿米豆等ノ如キ
品物ノ為メニハ善カラス如何トナレハ当地ヘ到着セ
ル後々分類ヲ再ヒ荷作リラセズバナラヌ故ヘナリ
火防ノ庫ヲ立テル費用ハ四十坪ニテ大凡萬千圓ノ手
元ニ金ノアル時ハ庫中ニ入レ或ハ之ヲ大坂兩替ニ預
托ス井上勇太郎(鴻池)之ヲ預カリ其金ハ要望スル時ハ
返償スベキモノナリ利ヲ付ケテ又々抵当ヲ取ラズ切
手ヲ以テ幾何ノ金額ナリニ引出スヲ得
此法ハ數百年來行ハル多クノ商人カ茲ト如クメ井上
ニ預托スレバ同氏ノ信用多カラザルユヘ之ヲ為スハ
唯其便利ナルカ為メナリ即ハケ直々ニ之ヲ引出サン

トラ望ムモノ之ヲ預托スルノミ我輩ハ新銀行ヲ信用
スレバ其不利モ亦大ニナリ其故ハ我輩ガ銀行ニ行
ニハ衣服ヲ裝飾セサルベカラザルナリ役所ノ設置管
業ノ法他人ノ耳目ニ新ラタナルナリ現時行ハル、銀
行ハ^ハコ^ハ準^ガ官^バ廳^ルメントオヒフ^クニ似タルナリ
我カ考ヘニハ当座預ケニ利子ヲ付ケバ預ケル人増加
スベシ
政府ト銀行ニテ関涉密近セバ大ニ信用ヲ増加スヘ
シ然レバ銀行ハ政府ノ役所ナリト云感觸ヲ起サシメ
サル様ニ注意スヘシ
商人ハ商業ニ通達シ相互ニ人ヲ知ルユヘ銀行ノ取
締ト為サハ甚タ宜シカルベシ
大坂ニテ振出し東京ニテ仕拂フベキ商人手形ヲ買フ

「ハ井上勇太郎之ヲ為セリ此等ノ手形ニ付テハ抵当
無シ而シテ之ヲ為スハ純カナリノ余ハ自分ノ切手ヲ
賣却ス割合ハ百田ニ付四十錢或ハ五十錢ナリ之ヨ
リ高キヲモアリ其時ノ情勢ニ屬ス時トメハ百田ニ付
十錢位フツアリ○随分安全ノ營業ナリノ余ハ政府ト
銀行ノ関涉スルトニ付テ熟慮セリ此等ヲ扱フハ善ク
注意スヘシ

若シモ政府ニテ重ナル商人ニ命ジテ取締タラシメバ
之ヲ奉スズレ然レ氏株數ヲ買フコトヲ嫌ハレ如何トナ
レバ其金ヲ自分ノ營業ニ用ユル方利益多クテ以テナ
リ
○生綿ハ多ク車ニテ内部ヨリ輸入ス其價大九元人二
里半ニテ二十錢位ナリ其價ハ大ニ増加セズ道路ハ

善好ナレ氏廣ロカラズ(ニツノ人カ車過クベシ)

大坂ノ重ナル商人ハ為換會社ニ関係セリ○成功多ク
ラガル諸會社ニ貸付ヲ為スニ依リテ破産セリ○信用
ノ有様ハ以前ヨリ悪シ此實因テ説クハ極ニ難シ其
一ハ恐ラク政府ニテ商業ニ関涉スルニ因ル詳説スレ
ハ印紙税是レナリ然レ氏當今ハ之ニ付テ甚タシク愁
嘆セズ漸ヤク之ヲ用ヒ始メタリ
○当年ノ秋作ハ米ハ大ニ善シ綿モ平年ヨリヨシ茶
ハ年々増加ス

大坂ニテ波谷(櫻屋)金澤(蟬氏)ト會話櫻屋ハ綿商ニ
テ此會話中ニハ問答總クナリ

第一問 久シク大坂ヲ知リヤ
答 余ハ大坂生レナリ

第二問 如何ナル商業ヲ為スヤ

答 肥シノ商業

第三問 久シク之ヲ為スカ

答 余ガ之ヲ為スハ三十年來我家ニテハ百年爾

來之ヲ為セリ

第四問 何所ニテ肥シヲ買フヤ

答 多分ハ越後松前樺太ヨリ買入レ猶又東京近

傍ヨリモ買入ル而シテ南方ヨリ買入ルハ

總カナリ

第五問 肥シノ質ハ何ナリヤ

答 魚(松前樺太ヨリ)鮓(東京近傍ヨリ)鮓

第六問 何ヨリ之ヲ買フヤ

答 船主ヨリ船主ハ漁師ノ頭ヨリ漁師ノ頭ハ各

と一六

己ノ漁師ヨリノ通常余ハ当所ニテ船主ヨリ
買産出ノ地ニ於テ買ハズ

第七問 若レ北地ニ出張シテ之ヲ買フ時ハ如何シテ

金錢ヲ扱フヤ

答 紙幣ヲ送レリ

第八問 如何ニレテ肥シヲ大坂ニ贈ルヤ

答 船ニテ賃錢ハ百石ニ付七十五圓蒸氣船ニテ

送ル時ハ費用多シ通常ノ船ニテ難船ノヲラ

算入ルル氏及ハズ

第九問 現金ニテ買フヤ

答 然リ

第十問 何所ニ如何ニ之ヲ蓄フルヤ

答 大坂ノ倉ニ

大坂ノ倉ニ

第十一問

倉ハ自分物カ又ハ借リモノカ

答 大凡五百坪程ハ自分物ナリ(七棟)時トメハ倉ヲ借ルコト有リ

第十二問

何人ニ之ヲ賣ルヤ

答 直ケテ農夫ニ賣ルコトアリ仲買ニ賣ルコトアリ通常ハ当所ニテ賣レテ船ニ積ンテ南地ニ送ルコトアリ斯ノ如クシテ阿波ニ送ルモノ甚タ多シ

第十四問

如何シテ内部ニ運送スルヤ

答 馬背牛車ヲテ

第十五問

何ノ作ニ之ヲ用ユルヤ

答 粟 麩 藍米綿

第十六問

肥ヲ生スル地方ニテハ之ヲ要スルヤ

とノ一七

答 然リ供シ餘リアルナリ

第十七問

ナ坂ニテハ子ト同業ノ人アリヤ

答 大凡百軒其中二十軒餘ハ重ナルモノナリ

第十八問

他ノ家ニテモ今子が云ヒタルコトナラシテ營業スルヤ

答 然リ

第十九問

信用ニテ之ヲ買フコトアリヤ

答 年壹割貳分ヨリ壹割八分迄ノ利子ニテ船主ニ貸付ルコトアリ又船主ハ唯船荷ノ價ノ半額ヲ余レヨリ受ルコトアリ○貸付金ヲ為レテ難船スルコトアル時ハ金ヲ取還スニ救ケ年懸ルコトアリ此時ハ年一割二分ヨリ一割八分迄ノ利ヲ付ルアリ決シテ抵当ヲ取ラズ

第二十問 肥レヲ買フ時節アリヤ

答 北地ニ於テ三月ヨリ九月迄ニ奥ヲ採リ三月ヨリ十一月迄ニ船積ミセリ東京近傍ニテハ冬ニ於テ上品ヲ得是レ冬ハ魚ノ油分多ケレバナリ而シテ之ヲ船ニ積ミテ大坂ニ下スヲ得相前越後ヨリハ然ラズ

第二十一問 若シモ多クノ金ヲ得ハ一層大ニナル商業ヲ為シ得ズト思フヤ

答 折々

第二十二問 子ハ此融通操合ヤヲ為ス果アリヤ

答 然リ多分ハ同業ノ商人ヨリノ金ヲ融通スルニキ方計アリシテラ望ム然レモ現今創立セル新銀行ト取引ヲ為スト難シ如何トナレ

とノ一ハ

バ品物ヲ賣ラントヲ求ムニ返金スルニ非ス其庫ノ管輪ヲ得ル能ハズ

第二十三問 如何ナル利子ヲ拂フヤ

答 毎月毎百一半(即チ一分五厘)

第二十四問 抵当ヲ出セリヤ出ス時ハ何ヲ

答 通例地面家作物

第二十五問 賣ルニ時節アリヤ

答 然リ多分十一月ヨリ六月迄

第二十六問 賣込ノ時節ニハ常ニ手元ニ金ヲ所持スルヤ

答 然リ

第二十七問 此金ヲ以テ何ヲ為スヤ

答 短期ニテ貸付ク利子ハ一割二分ヨリ一割八

大 債 首

分

第二十八問 使用ノ道無キコトアリヤ

答 有リ

第二十九問 其時ハ如何為スヤ

答 井上勇太郎兩替屋ニ預托ス利子ヲ取ラス抵

当ラ取ラス切手ニテ何時ニテモ引出スヲ得

通常永リ預ケ置カズ。我輩ハ随分同人ヲ信

用スレ氏以前程ハ信用セス

第三十問 大坂ニハ斯ノ如キ兩替屋多キヤ

答 當時ニテハ以前ノ十分一位ナリ。ハテ現今

第一等ノ家三十軒程

第三十一問 全ラ預ケル時ハ之ヲ信用シ金ヲ要望ス

ル時ハ之ヨリ借ルヲ得ル如キ金錢取扱ノ會

とノ一 九

社不足ナリト思ハズヤ

答 然リ

第三十二問 茲ノ如キ會社成立セハ子ハ之ト取引ヲ

為スヤ

答 是ハ其會社ノ組立方ニ屬ス当所ニ於テハ多

クノ會社成立シタレ氏皆ナ破産セリ故ニ我

輩ハ之ニ付テハ警戒ス

第三十三問 政府ニテ之レト關係セバ人民ノ信用ヲ

得マキト思フヤ

答 然リ地方政府ト

第三十四問 如何ニ關係セバ善カラシ

答 政府ニテ若シ若干ノ資金ニ付テ保証セバ人

民ノ信用増スバレ候シ政府ノ役ムカ其事務

ニ拘ハリテハ全局ノ事ヲ破ルベシ。人民ハ
政府ノ役所ニ均シキ銀行ト取引キスルヲ好
マス

第三十五問 然レモ政府ニテ少シモ其扱方ニ関涉セ
ザル會社ノフヲ保証スルハ難シ若シ其私ヲ
防預スル為メ政府一二ノ官負ガ日々銀行ノ
奥ニ出席セバ如何

答 然リ奥ニ在ラバ宜シカラシ

第三十六問 商人ノ心中ニ満足スル處ノ銀行設立ニ
着目スルト假定センニ若シ其實令ヲ月賦ニ
テ收ムル時ハ子ハ其株式ヲ買ハント思フヤ
答 行門入金ト否ハ問題ヲ決定セサルヘシ株式
ヲ買フト買ハザルトハ銀行ノ組立方ニ因ル

とノ二〇

ベシ

第三十一問 三井第一国立銀行第五国立銀行ハ商人
ノ為メニ事務ヲ為スヤ

答 為サズ若シ之ヲ為サハ我輩ハト取引ヲ
為スヲ忌マス

第三十八問 政府ニテ船荷積卸シノ便利ナル場所ニ
公倉ヲ建テバ一般ノ便益ト為リテ商業ヲ進
捗セシムベキカ

答 便利ナラザルヘシ如何トナレバ我輩ハ諸種
ノ物品ヲ諸所ニ置クテヲ要望スルエトナリ
ト米ノ為メニハ善クシカ

千八百七十五年十二月

横濱ニ於テ原善三郎

氏ト會話

蚕種

第一問 当年蚕種ノ價ハ幾ナルヤ

答 一枚一回七十錢ヨリ二十錢マテニアリタ

リ

第二問 始メハ其價之ヨリ善カリシニアラズヤ

答 然リ始メハ善キ蚕種紙ハ一枚ニ付五回位ナ

リレガ五年已来段々下落セリ

第三問 当年ノ損失ハ大ヒナリヤ而レテ其損失ハ何

人ニ掛ルヤ

答 其損失ハ甚々大ヒニシテ農夫ニ掛レリ

第四問 蠶紙一枚ノ産出代價ハ幾何ナルヤ

答 大凡四十一錢

第五問 蚕種紙ノ賣買止マズ生絲ノ産出増加スルト

忌スヤ

答 甚々懸カナルベシ

第六問 如何シテ此賣買ヲ為スヤ

答 時トシテハ農夫ヨリ蚕種ヲ買フガ為メ横濱

商人ヨリ代理人ヲ送レリ然レハ多分ハ農夫

ガ横濱マテ輸リテ自カラ之ヲ賣レリ

生絲

第七問 如何シテ生糸賣買ヲ為スヤ

答 國內ノ商人ハ現金ヲ拂フテ農夫ヨリ生糸ヲ

買集メ之ヲ横濱ノ門屋ニ送レリ○國內商人

ハ生糸ト共ニ来レリ故ハ

一問屋ヲ信セヌハ

二其代ニテ品物ヲ買フテヲ願フユ
三変化ト遊樂ヲ望ム

第八問 問屋ハ生糸ニ依テ金ヲ貸付ルヤ

答 折々〇一割二分ヨリ一割八分迄ノ利息ニテ

第九問 如何ナル雜費ヲ掛ルヤ

答 七味ノ手数料〇倉鋪料ヲ取ラズ

第十問 問屋ハ自分ニテ買フテアリヤ

答 然リ去リナガラ自分ニテ買ヒ又々國內ノ高

第十一問 人ニ貸付タル者ハ大ヒニ損夫シタリ

答 今ハ無シ維新前ニハアリタリ

第十二問 今ハ無シ維新前ニハアリタリ

答 鈴木屋粉屋小松屋大六小橋屋橋本屋三関屋

西家

皆ナ衰廢セリ而シテ其跡ニ新レキ家ノ與ル

第三問 當今アル生糸屋ハ如何

答 野沢屋龜屋吉村屋殿村糸平屋美屋

第十四問 舶来物商人中ニ不幸ナルモノアリヤ

答 然リ右ノ商人ハ多ク衰廢セリ

第十六問 右ノ衰廢ノ差響ハ如何アリシヤ

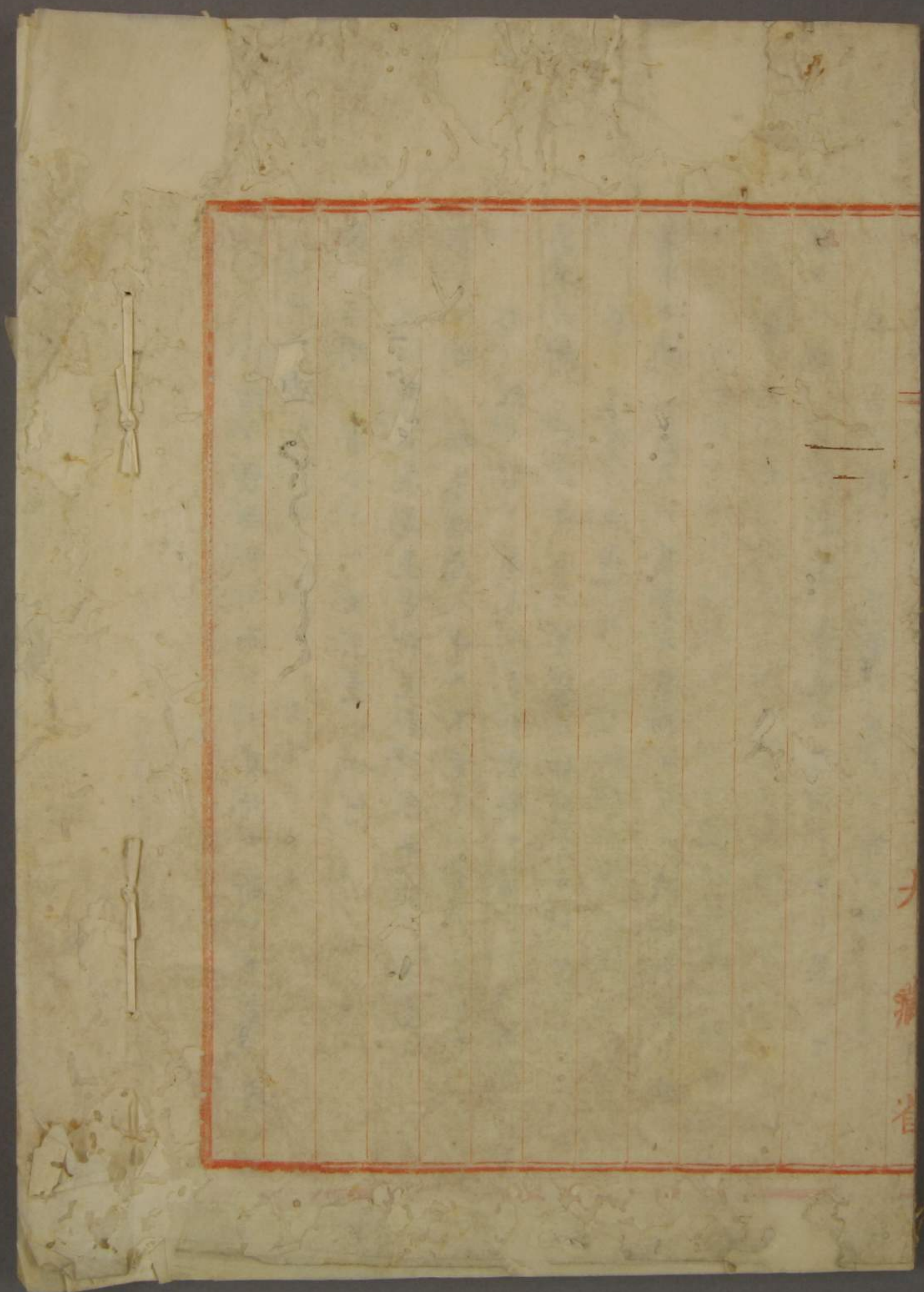
答 信用ノ消滅

第十七問 商人ノ篤實ハ最初ヨリハ減レタリト思フ

答 思ハズ

第十八問 當今商業ノ景況ハ如何ナルト思フヤ

答 當今程ノ不景氣ハ是マデ知ラズ



大
新
省